

令和7年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	2
対象学年・組	第2学年1組～4組				
使用教科書	『現代の国語』（大修館書店）				
使用教材	『新総合 図説国語』（東京書籍）、「漢字ボックス」（浜島書店）				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書を親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			読	書					
1 学 期	A 「考える技術—考えさせない時代に抗して」 【知識及び技能】 言葉の意味内容をあらためて考え、認識と思考と言葉との関係を理解する。【(1)ア】 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の意味内容をあらためて考え、認識と思考と言葉との関係を理解する。【(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○筆者が「考える」ということがどのようなことか、言葉で定義しようとしていることを理解している。 ○「考える」と「論理」が違うということを理解している。 ○筆者の述べる「考える」ことがどのようなものか、理解しようとしている。	○	○	○	5
	B 「動」への変化 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。【(2)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。【C(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○個々のメディアの特徴と「動」の自由度の発展との関わりについて理解している。 ○個々のメディアの特徴に注目することで、本文の展開をとらえられることを理解している。 ○進んで文章の叙述をもとに要点を把握しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		○	○	○	1
	C 「空気を読む」 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。【(2)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。【C(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○筆者の主張と、筆者の示す具体例との関係を理解している。 ○筆者の述べる「空気を読む」ことの現状と問題点について理解している。 ○複数の文章や資料から、情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	D 「伝わりやすい話す」 【知識及び技能】 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。【(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。【A(1)ウ】 【学びに向かう力、人間性等】 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえて、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○伝わりにくい内容について、どの点を改善すればよいか指摘できる。 ○伝える内容について、話し言葉の特徴を踏まえ、おおむねわかりやすい表現を考えている。 ○口頭での説明で重要なことや相手が理解しやすい工夫を認識し、今後の言語生活に活かそうとしている。	○	○	○	7
定期考査		○	○		○	○	○	1	
2 学 期	E 「自然と人間の間をとおして考える」 【知識及び技能】 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。【(2)アウ】 【思考力、判断力、表現力等】 本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開について的確にとらえる。【C(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○本文中の主張と根拠の関係を理解している。 ○本文における情報の関係に注意しながら、内容や展開をとらえている。 ○論理展開を把握する際に何が重要であるかを考えようとしている。	○	○	○	5
	F 「わかりやすく書く」 【知識及び技能】 書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。【(2)ア・イ】 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。【B(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 説明を書くことを通して、材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じた適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○材料の関係について、おおむね理解している。 ○伝えるべき内容と表現のしかたが、おおむね的確である。 ○説明を書く上での材料の選択と表現の工夫の重要性を認識し、今後の言語生活で活かそうとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		○	○	○	1
	G 「空でおいしい国の限界」 【知識及び技能】 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解する。【(2)ア】 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深める【C(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけながら内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○文章の記述と図表の内容がどのように対応しているかを理解している。 ○文章と図表の情報の対応関係を検討し、内容を解釈している。 ○図表を伴う文章を読む際に重要な点を考えようとしている。	○	○	○	8
	H 「驚きを取り戻す」 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めよう。【(2)エ】 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。【C(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○筆者の主張がどのような情報の引用によって支えられているか読み取っている。 ○「驚きを取り戻す」ことの意義とその方法について、筆者の主張を読み取っている。 ○情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	○	○	○	7
定期考査		○	○		○	○	○	1	
3 学 期	I 「作業ロボットの問題」 【知識及び技能】 主観的根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味する。【(2)ニ】 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。【C(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○現在の人工知能に可能なこととブレイム問題について読み取り、筆者の見解の信頼性や妥当性について、評価している。 ○自分の求める情報を適切に取り出し、内容や書き手の意図を適切に解釈している。 ○授業で示されたテーマについて、級友との対話を通して粘り強く考えようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査		○	○		○	○	○	1

令和7年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	単位数	2
対象学年・組	2学年 1・2・3・4組				
使用教科書	帝国書院 高校生の地理総合、 帝国書院 標準高等地図				
使用教材	高校生の地理総合ノート（教科書準拠） 帝国書院				

教科の目標

【知識及び技能】	現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解すること。
【思考力、判断力、表現力等】	現代世界の地域構成について位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現すること。
【主体的に学習に取り組む態度】	授業を始めとする教科の活動で、しっかりと取り組むことにより、上記の【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力】で記載した内容について、学び、身につけようとする姿勢を高めること。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをともに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	<p>〈地図や地理情報システムと現代世界〉</p> <p>【知識及び技能】地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】目的に応じた地図や地理情報システムの利活用方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>1章 地図や地理情報システムと現代世界</p> <p>1節 地球儀と地図</p> <p>2節 地図と地理情報システム</p>	<p>【知識及び技能】地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】目的に応じた地図や地理情報システムの利活用方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	5
	<p>〈結びつきを深める現代世界〉</p> <p>【知識及び技能】世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>2章 結びつきを深める現代世界1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 地図から見る国内や国家間の結びつき</p>	<p>【知識及び技能】世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	8
	<p>学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。</p>			○	○		1
1 学 期 期 末	<p>〈生活文化の多様性と国際理解〉</p> <p>【知識及び技能】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化の多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の産業と人々の生活</p> <p>4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活</p> <p>5節 多様な生活文化と地理的環境</p>	<p>【知識及び技能】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	8
	<p>〈複雑に絡み合う地球的課題〉</p> <p>【知識及び技能】どのような地球規模の課題があり、課題どうしがどのように関係しているのかについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】SDGsと照らしながら、地球規模の課題や、課題どうしの関係性について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】地球規模の課題に対するSDGsの達成に向けて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>		<p>【知識及び技能】どのような地球規模の課題があり、課題どうしがどのように関係しているのかについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】SDGsと照らしながら、地球規模の課題や、課題どうしの関係性について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】地球規模の課題に対するSDGsの達成に向けて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	7
	<p>学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。</p>			○	○		1
2 学 期 中 間	<p>〈気候風土、農業、経済、宗教、文化などの影響による生活文化の変化（アジア諸国）〉</p> <p>【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>事例1～3 を通じて、世界の各国、各地域について学ぶ</p>	<p>【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	○	○	○	5

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	(気候風土、農業、経済、宗教、文化などの影響による生活文化の変化 (アフリカ諸国・ヨーロッパ諸国)) 【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	事例4～6 を通して、世界の各国、各地域について学ぶ	【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	8
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。			○	○		1
2 学 期 期 末	(気候風土、農業、経済、宗教、文化などの影響による生活文化の変化 (ロシア・アメリカ・オセアニア諸国)) 【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	事例7～10 を通して、世界の各国、各地域について学ぶ	【知識及び技能】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候風土、農業、経済、宗教、文化などが、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	8
	(自然環境と防災) 【知識及び技能】自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。 自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力・判断力・表現力】どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え	【知識及び技能】自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	7
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。			○	○		1
3 学 期	(生活圏の調査と地域の展望) 【知識及び技能】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	2章 生活圏の調査と地域の展望 1～4 地理的な調査テーマを設定し、調査検証・地域づくりの参画などを行う	【知識及び技能】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	9
	学習内容の定着度の確認、課題となる点を把握し、復習する。						1

授業時数合計 70

令和7年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	3
対象学年・組	2学年 1組・2組・3組・4組				
使用教科書	新編数学Ⅱ（数研出版）				
使用教材	3TRIAL数学Ⅱ+B、チャートなど				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 第1章 式と証明 第1節 式と計算 【知識及び技能】 ・3次式に関わる展開や因数分解を扱う。さらに、二項式の累乗の展開式に関して、係数における関係に着目させ、パスカルの三角形、二項定理が成り立つことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・割り算の結果は1つの等式で表されることを理解させ、その等式を使って解決できる問題に習熟させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式の割り算 ・分数式とその計算 ・恒等式 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・3次式の展開の公式を利用することができる。 ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・恒等式となるように、係数を決定することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ・分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $(a+b+c)^n$ を展開したときの $a^p b^q c^r$ の係数がどうなるかを、興味・関心をもって調べようとする。 ・恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	8
	B 第1章 式と証明 第2節 等式・不等式の証明 【知識及び技能】 ・常に成り立つ等式と、ある条件のもとで成り立つ等式の証明方法を理解させる。 ・実数の大小関係に関する基本性質などを明らかにし、不等式の証明方法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等式・不等式の証明を通じて、数学的な考え方や論理的思考力を養い、式と証明についての理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・等式の証明 ・不等式の証明 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・恒等式 $A=B$ の証明を。適切な方法で行うことができる。 ・実数の大小関係の基本性質に基づいて、自明な不等式を証明することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 ・不等式の証明に実数の性質を利用できるように、式変形を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・比例式を含む等式の証明を通じて、加比の理に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
1 学 期 期 末	C 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 【知識及び技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・複素数とその計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 ・解と係数の関係を使って、対象式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・複素数の表記を理解し、複素数 $a+0i$ を実数 $a$ と同一視できる。 ・異なる2つの実数 $\alpha$ 、 $\beta$ が正の数、負の数、異符号であることを、同地な式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。	○	○	○	8
	D 第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 【知識及び技能】 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 ・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 ・高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。 ・1の3乗根の性質に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	10
定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	E 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 【知識及び技能】 ・数直線上および座標平面上の点について、2点間の距離や線分の内分点、外分点の座標を求められるようにする。 ・座標平面上で、直線とx、yの1次方程式の対応関係を理解させ、いろいろな条件を満たす直線の方程式を求めさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図形の性質の証明問題を、座標平面上で代数的に解決できるようにする。 ・2直線の位置関係を傾きの関係でとらえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式 ・2直線の関係 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・座標平面上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 ・2直線の平行・垂直条件を理解して、それを利用できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 ・図形的条件（線対称など）を式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知らうとする。 ・2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。	○	○	○	10
	F 第3章 図形と方程式 第2節 円 【知識及び技能】 ・円とx、yの2次方程式の関係を理解させ、いろいろな条件の円の方程式を求め、円と直線の位置関係を、連立方程式の解および円の中心と直線との距離の観点から代数的に考える方法を理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・2つの円の位置関係を、半径と中心間の距離の関係からとらえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・円の方程式 ・円と直線 ・2つの円 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 ・x、yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 ・2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	G 第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域 【知識及び技能】 ・軌跡の概念を理解し、座標を用いて、計算により軌跡を求められるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を図示することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・少し複雑な不等式の表す領域についても、興味をもち、取り組もうとする。	○	○	○	6
	H 第5章 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数乗の計算をすること。 ・対数の意味とその基本的性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。 ・指数関数・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・指数の拡張 ・指数関数 ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・指数が整数、有理数、無理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。 ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 ・指数関数、対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・指数関数、対数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 ・指数と対数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数と対数の相互関係に興味・関心をもち、指数関数、対数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 ・やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。	○	○	○	16
3 学 期	I 第6章 微分法と積分法 【知識及び技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・関数とその導関数との関係について考察すること。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導事項 ・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式 ・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積 教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート式 一人1台端末の活用 ・問題配信 ・動画視聴	【知識及び技能】 ・平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 ・定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ・導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・導関数を利用して、関数の極値、最大値・最小値を求めることができる。 ・不定積分、定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ・与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・接線の傾きで関数の増減が調べられることを理解している。 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ・微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。 ・関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。	○	○	○	25
	学年末考査			○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学B	単位数	2
対象学年・組	2学年1組、2組、3組、4組				
使用教科書	新編『数学B』（数研出版）				
使用教材	3 TRIAL 数学B（数研出版）等				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期 中 間	A 第1章 第1節 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	指導事項 ・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和 教材 ・教科書 ・教科書傍用問題集 ・参考書 ・ICT活用	【知識及び技能】 ・数列の定義、表記について理解し、数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。 ・等差数列の公差、一般項などを理解し、初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ・等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。  【思考力・判断力・表現力】 ・数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	11
	定期考査(中間考査)			○	○		1
1 学 期 期 末	B 第1章 第2節 いろいろな数列 【知識及び技能】 ・和の記号 $\Sigma$ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。  【思考力、判断力、表現力等】 ・いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・数列の和について学んだことを振り返り、数列の和の求め方について統合的・発展的に考察することができる。	指導事項 ・和の記号 $\Sigma$ ・階差数列 ・いろいろな数列の和 教材 ・教科書 ・教科書傍用問題集 ・ICT活用	【知識及び技能】 ・記号 $\Sigma$ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。  【思考力・判断力・表現力】 ・数列の和を記号 $\Sigma$ で表して、和の計算を簡単に行うことができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。 ・階差数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然数の2乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の2乗の和の公式を導こうとする意欲を持つ。 ・数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。 ・ $(k+1) - f(k)$ を用いる和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようしたり、群数列に興味をもち、考察しようとする。 ・自然数の3乗の和の公式を求めようとする意欲がある。	○	○	○	13
	定期考査(期末考査)			○	○		1
2 学 期 中 間	C 第1章第3節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 ・数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにする  【思考力、判断力、表現力等】 ・複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	指導事項 ・漸化式 ・数学的帰納法 教材 ・教科書 ・教科書傍用問題集 ・ICT活用	【知識及び技能】 ・漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。  【思考力・判断力・表現力】 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	14
	定期考査(中間考査)			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
2 学 期 末	D 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 ・確率変数と確率分布について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	指導事項 ・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ・正規分布 教材 ・教科書 ・教科書傍用問題集 ・ICT活用	【知識及び技能】 ・確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・独立な確率変数の積の期待値、和の分散を、公式を利用して求めることができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 ・正規分布に従う確率変数 $X$ を標準正規分布に従う確率変数 $Z$ に変換できる。 ・標準正規分布に従う確率変数 $Z$ についての確率を求めることができる。 ・標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。  【思考力・判断力・表現力】 ・試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 ・具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 ・正規分布の特徴を理解し、様々な視点からとらえることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 ・確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 ・二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 ・現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。 ・二項分布について、試行の回数 $n$ を大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見るなどして、正規分布に近づいていく様子を自ら確かめようとする。	○	○	○	15
	定期考査（期末考査）			○	○		1
3 学 期	E 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 【知識及び技能】 ・母集団と標本、標本平均について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・標本平均について、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	指導事項 ・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定 教材 ・教科書 ・教科書傍用問題集 ・ICT活用	【知識及び技能】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 ・推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 ・仮説検定に関わる用語を適切に活用することができる。  【思考力・判断力・表現力】 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ・母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。 ・仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。 ・標本の抽出方法にいくつか種類があることに興味・関心をもち、どのような方法があるかを調べようとする。				12
	学年末考査						1

授業時数合計 70

令和7年度 年間授業計画

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	2
対象学年・組	2学年 1・2・3・4組				
使用教科書	物理基礎(数研出版)				
使用教材	プリント、Classi				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則を理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	身近な物体の運動や変化の中から問題を見だし、実験・観察等を通して、物理的に正しく表現することができる。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動やエネルギーへの関心を高め、それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 物理量の扱い方 【知識及び技能】 物理量の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 測定値を正しく表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理量の単位や有効数字を見て、どのようなものを表しているか考えている。	・指導事項 物理単位、有効数字とその計算、連立方程式、三角関数 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 有効数字を正しい桁数で計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 任意の物理量に正しい単位で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理量に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	B 速度 【知識及び技能】 物体の運動について、得られた数値から計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 速度や加速度のグラフを見て、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 速度、加速度、自由落下運動 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 速度や加速度の問題を正しく計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 速度や加速度のグラフを見て、どちらが速いか等を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度や加速度に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末	C 力 【知識及び技能】 様々な力について、それぞれの性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの力のつりあいについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 力とそのはたらき、力のつりあい ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 図を見て、どの力を示しているかを選ぶことができる。 【思考力・判断力・表現力】 2つの力について、ベクトルで図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力の性質やつりあいに興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	D 運動 【知識及び技能】 運動している物体に対して、運動方程式を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体に対して加わっている力を図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 運動の法則、摩擦を含む運動、圧力、浮力 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 運動方程式について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 運動内で加わっている力をベクトルで図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期 中 間	E 仕事 【知識及び技能】 物体の運動について力学的エネルギーを用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーの変化について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 仕事、運動エネルギー、位置エネルギー ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 力学的エネルギーについて、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 位置エネルギーと運動エネルギーがどのようにあるか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギーに興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	F 熱 【知識及び技能】 熱力学第一法則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 熱と温度の関係について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 熱、エネルギー、熱運動 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 密閉容器における熱量の変化について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 温度がどのように変化しているかについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱やエネルギーに興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	G 波 【知識及び技能】 波の発生原理や基本事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わるようすをグラフで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 波の運動、定常波、合成波 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 グラフを見て、波長や振動数について答えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 波の様子をグラフで図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 波に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	H 音 【知識及び技能】 音の波としての性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音の振動数と波長の関係について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 音波、弦の振動、共振 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 音の波長や振動数について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 振動数や波長から音の高低や大小について、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 音に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 電気 【知識及び技能】 抵抗や電力について理解し、計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 電流と磁場の関係について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理の法則を確かめる実験に意欲を持って取り組んでいる。	・指導事項 電気の性質、電気抵抗、電力、磁場、交流、原子力 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習、実験データの計算	【知識及び技能】 合成抵抗や電力量について、計算することができる。 【思考力・判断力・表現力】 磁場が電流に対してどの向きであるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気や磁場に興味を持って、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年・組	2学年1組～4組				
使用教科書	高等学校 生物基礎 (数研出版)				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	理科に関する知識の習得や概念の理解をする。実験操作の基本的な技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】	習得した「知識・技能」を活用して単元ごとの課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。
【主体的に学習に取り組む態度】	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において粘り強く取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・生物基礎に関する事物や現象についての知識の習得や概念の理解をする。 ・科学的に探究するための観察・実験操作の基本的な技術を習得する。	習得した「知識・技能」を活用して、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、単元ごとの課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につける。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、主体的に粘り強く取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	第1章 生物の特徴 第1節 【知識及び技能】 顕微鏡の使い方、生物の多様性と共通性、生物の多様性と共通性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 観察や実験を通して、共通点や相違点を見出し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 顕微鏡の使い方、生物の多様性と共通性、生物の共通性としての細胞 ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 顕微鏡観察物の写真撮影など	【知識及び技能】 p.39の節末チェック問題に答える。プレパラートを作成し、顕微鏡観察ができる。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 ミクロメーターを使って、観察物の計測ができる。問やQuestを考えさせ、答える。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	第1章 生物の特徴 第2節・第3節 【知識及び技能】 エネルギーと代謝、呼吸と光合成について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 観察や実験を通して、酵素のはたらきを確認し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 生命活動や代謝とエネルギー、ATP、呼吸、光合成、酵素 ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの利用など	【知識及び技能】 p.47とp.59の節末チェック問題に答える。試験管とビベットを用いた酵素の実験を行うことができる。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 実験の結果より酵素のはたらきについて考え、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーと代謝（呼吸・光合成）に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
1 学期 期末	第2章 遺伝子とのはたらき 第1節 【知識及び技能】 DNAの構造と、遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの模型や模式図から塩基の相補性を見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 DNAの構造、遺伝情報をふくむDNA ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 細胞分裂像の写真撮影と共有など	【知識及び技能】 p.69の節末チェック問題に答える。DNAの抽出ができる。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 DNAの構造の模型や模式図から、塩基の相補性などの特徴を見出せる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とDNAに関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	7
	第2章 遺伝子とのはたらき 第2節 【知識及び技能】 DNAの構造から、DNAの複製と分配のしくみを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの模型や模式図から、複製のしくみを見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる。	・指導事項 遺伝情報の複製と分配のしくみ ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの活用 など	【知識及び技能】 p.80の節末チェック問題に答える。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 DNAの模型や模式図から、複製のしくみを見出し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの複製と分配に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間	第2章 遺伝子とのはたらき 第3節 【知識及び技能】 DNAからタンパク質のアミノ酸配列が決まること、細胞の機能に応じて発現する遺伝子が異なることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 塩基配列からタンパク質ができるしくみを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 遺伝情報とタンパク質、タンパク質の合成、分化した細胞の遺伝子発現、遺伝子とゲノム ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの活用 など	【知識及び技能】 p.102の節末チェック問題に答える。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 Questや問、思考学習を考えさせ、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報の発現に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	6
	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 【知識及び技能】 体内で自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態が調節されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 フィードバックのしくみを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 体内での情報伝達、神経系と内分泌系による情報の伝達と調節 ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 実験の結果をグラフ化する など	【知識及び技能】 p.119の節末チェック問題に答える。体の変化を調べることができ、その結果をまとめることができる。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 実習の結果から心臓の拍動に自律神経がどう関わっているか、考え、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内での情報伝達と調節に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期 期末	第3章 ヒトの体内環境の維持 第2節 【知識及び技能】 ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 血糖濃度の調節のしくみを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 体内環境の維持、血糖濃度の調節のしくみ、血液の循環を維持するしくみ ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの活用 など	【知識及び技能】 p.131の節末チェック問題に答える。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 グラフから、血糖濃度とホルモンのはたらきの関係に気づき、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトの体内環境の維持に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	8
	第3章 ヒトの体内環境の維持 第3節 【知識及び技能】 からだを守るしくみ、免疫と病気の関係や医療への応用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフを読み取り抗原と抗体の関係について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 からだを守るしくみ、自然免疫、適応免疫、免疫と病気 ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの活用 など	【知識及び技能】 p.147の節末チェック問題に答える。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 グラフから抗原と抗体量の変化を推測したり、グラフで示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫のはたらきに関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 植生、世界のバイオーム、生態系の成り立ちとバランスについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データをもとに環境の変化によって生態系に影響があるか、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 テーマに関心をもって取り組むことができる	・指導事項 植生の遷移、バイオーム、生態系、人間の活動と生態系 ・教材 教科書、プリント、ICT教材 ・一人1台端末の活用 教科書のLinkの活用 など	【知識及び技能】 p.169、p.181、p.192～193、p.209の節末チェック問題に答える。ワークシートの問いに答える。 【思考力・判断力・表現力】 開発など人間の活動と生態系の保全とが対立するような課題について、さまざまな立場にたち、意見を述べあうことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の多様性と生態系に関心をもち、主体的に取り組める。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

令和7年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年・組	2年1・2・3・4組				
使用教科書	新高等保健体育 大修館書店				
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動を継続する意義、体の構造、運動の原則</li> <li>体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること</li> <li>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すると</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける</li> <li>相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする</li> <li>ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする</li> </ul>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学期</p> <p>A 単元 【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえで守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。</p> <p>(水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。</p>	<p>オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト</p> <p>水泳</p>	<p>【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 安全に配慮して行動することができる①②③ 体の使い方が適切にできているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p>	○	○	○	25
<p>2 学期</p> <p>【具体化する・構造化する】 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようにする。</p> <p>(バレーボール) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようになる。 個人的技能および集団的技能</p> <p>(長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間、安定したペースで走ることができる。 マラソン大会を完走する</p> <p>(サッカー) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようになる。 個人的技能および集団的技能</p>	<p>水泳</p> <p>バレーボール</p> <p>陸上競技 (長距離走)</p> <p>サッカー</p>	<p>主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 相手に配慮したパスを出すことができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p>	○	○	○	30
<p>3 学期</p> <p>【具体化する・構造化する】 (サッカー) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようになる。 個人的技能および集団的技能</p> <p>【理由付けする・関連づける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。</p>	<p>サッカー 体育理論</p>	<p>【観点】 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する</p>	○	○	○	15

令和7年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象学年・組	2年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育：大修館書店				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたって心身の健康を保持・増進し豊かなスポーツライフを継続するための知識と技能の習得	学んだ知識・技能を活用し課題の解決に向けて様々な健康情報を収集・選択・判断・活用して対応できる思考力、判断力、表現力の育成	主体的に学習する姿勢や自ら思考・判断・表現する能力や態度を身に付ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期	1 思春期と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	思春期における心身の発達や性的成熟  思春期に起こりやすい健康課題結  婚活と健康との関係  夫婦関係、親子関係と健康	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる  【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる  【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心を持ち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	9
	2 性意識の変化と性行動の選択 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	受精・妊娠・出産の過程と健康課題  母子保健サービス					
	3 結婚生活と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する						
	4 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する						
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	5 家族計画 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	加齢による心身の変化と健康課題  若年期の生活習慣と中高年期の健康との関係  働くことの意義と働き方の多様化  働く人における健康問題	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる  【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる  【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心を持ち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	14
	6 加齢と健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する						
	7 高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する						
	8 働くことと健康 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する						
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 資料から必要な知識を得ることができる 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識の中から課題を発見できる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康課題について関心を持ち意欲的に探究する	汚染による健康への影響を考える  健康被害を防ぐための環境づくり	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる  【思考力・判断力・表現力】 学習を通して、課題意識を持ち、健康課題を調べることや健康行動をとることができる  【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える健康に関心を持ち、健康課題について意欲的に探究しようとする	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1

令和7年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3
対象学年・組	2年 1・2・3・4組				
使用教科書	Cambridge Experience 2				
使用教材	DataBase AVAIL, マーフィーのケンブリッジ英文法				

教科の目標

【知識及び技能】	様々な学習活動を通して、英語でのコミュニケーションに必要な文法知識や語彙を蓄え、発信するための技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	様々な話題や課題について、自らのアイディアや意見を英語で表現し他者と共有する。
【主体的に学習に取り組む態度】	様々な学習活動に取り組む中で、自身の課題に気づき、より良い結果が得られるよう学習を進めていく。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの知識・理解を深め、それを4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、話し手や書き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自らも英語で適切に表現できる力を養う。	英語という言葉の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手の文化的背景を考えながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	感	配 当 時 数
			聞	読	話	書	書					
1 学 期	A 単元 Starter C 【知識及び技能】 単純過去形 (be, 一般動詞) の形・用法・意味を理解し自ら使用する 【思考力、判断力、表現力等】 中学校での制服について英語で説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な地域や時代の学校について知る	・単純過去形 (be, 一般動詞) ・教科書・ハンドアウト ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					4
	B 単元 Starter A 【知識及び技能】 単純現在形 (be, 一般動詞) の形・用法・意味を理解し自ら使用する 【思考力、判断力、表現力等】 普段やっていることや慣習について英語で説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 交換留学生についての文章に触れる中で、文化や価値観の違いを知る	・単純現在形 (be, 一般動詞) ・教科書・ハンドアウト ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					4
	B 単元 Unit 1 【知識及び技能】 現在完了形・形・用法・意味を理解し自ら使用する 【思考力、判断力、表現力等】 自他の経験や完了していることについて英語で伝えたり問いかけたりする 【主体的に学習に取り組む態度】 若者の交友関係についての文章に触れる中で、ICT技術の発展による人との関わりの変化について考える	・現在完了形 ・教科書・ハンドアウト ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					15
	定期考査											1
	B 単元 Unit 2 【知識及び技能】 現在完了進行形の形・用法・意味を理解し自ら使用する 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了進行形を用いて人や物事について英語で表現したり理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 移住についての説明文に触れる中で、時代とともに変わる人々の暮らしと環境について知る	・現在完了進行形 ・教科書・ハンドアウト ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					15
定期考査											1	
2 学 期	A 単元 Unit 5 【知識及び技能】 過去完了形について、過去形との使い分けを知り活用する 【思考力、判断力、表現力等】 時系列に沿って、物事や人物について理解したり自らの言葉で人に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史の中で変化してきた仕事や役割について知り働くことの社会的意義について考える	・過去完了形 ・教科書 ・一人1台端末の活用 等					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					14
	B 単元 Unit 6 【知識及び技能】 現実的な条件を含む表現について学び、活用する 【思考力、判断力、表現力等】 条件と結果を明確にして物事を説明する 【主体的に学習に取り組む態度】 天候に関する言い伝えについて知り考える	・直説法 (実現性のある条件節を含む) ・教材 ・一人1台端末の活用 等					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					14
	定期考査											1
	C 単元 Unit 7 【知識及び技能】 仮定法現在について学び活用する 【思考力、判断力、表現力等】 現在の事実と仮定と仮定と結果を英語で表す 【主体的に学習に取り組む態度】 植物のもつ効用について英語で知り、例以外の身近な植物についても考察する	・仮定法現在 ・教材 ・一人1台端末の活用 等					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					14
	定期考査											1
3 学 期	I 単元 Unit 8 【知識及び技能】 仮定法過去について学び活用する 【思考力、判断力、表現力等】 過去の事実と仮定と仮定と結果を英語で表す 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に起きた出来事について、事実の描写と事実と異なる想定とを見極め考察する	・仮定法過去 ・教材 ・一人1台端末の活用 等					【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。					20
	学年末考査											1

令和7年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英文読解	単位数	2
対象学年・組	2学年1組～4組				
使用教科書	マーフィーのケンブリッジ英文法				
使用教材	Active Listening 3、ジーニアス総合英語 第2版				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の文法的知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の文法的知識を身に付ける。	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 し 方	読 書	書					
1 学 期	Unit 16～18 【知識及び技能】現在完了形について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現在完了形を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】現在完了形を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	現在完了形	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	11
	定期考査								○	○		1
	Unit 99～100 【知識及び技能】関係詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】関係詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】関係詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	関係詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1
2 学 期	Unit 85～86 【知識及び技能】比較級について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】比較級を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】比較級を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	比較級	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	Unit 87～88 【知識及び技能】原級を用いた比較・最上級について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】原級を用いた比較・最上級を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】原級を用いた比較・最上級を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	原級を用いた比較・最上級	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	Unit 50 【知識及び技能】動名詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】動名詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】動名詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	動名詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	8
	Unit 50～52 【知識及び技能】不定詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】不定詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】不定詞を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	不定詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
3 学 期	Unit 97～98 【知識及び技能】仮定法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】仮定法を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】仮定法を適切に使用して自他やテーマについて表現する。	仮定法	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	13
	学年末考査								○	○		1

